

平安時代（9世紀）

9世紀に入ると、これまでの掘立柱建物群が再編され、遺跡北部の平坦地に、建物主軸を統一した大型建物と複数の周辺建物による掘立柱建物群が形成されます（図2-16、17）。この建物群の周囲からは、銅鏡・銅鈴・垂飾・鉄鐸・鉄鏡・舟形鉄製品・三彩陶器・緑釉平瓶・土馬などをはじめとする多数の祭祀遺物が集中的に出土しており、墨書土器「宮厨」の出土のほか、記号墨書「≡」が集中的に出土する傾向が認められます。また、この建物群の北に位置する井戸遺構と周辺の土器溜りでも、同様の「宮厨」の出土と「≡」の集中傾向があり、建物群に井戸が伴うことを示唆しています。この井戸遺構は、二重の井戸枠を持ち、さらに矢板状に周囲を補強する、重厚な造りとなっており、内部には浄水のための白石が敷き詰められ、内部からは木製祭祀具の斎串が出土しています。以上の成果から、この建物群は、井戸を伴い、祭祀に伴う饗宴の用意のほか、使用する多数の祭具を管理する、古代神社の厨関連施設と考えることができます。

また、9世紀の後半に入ると遺跡中央部の東へ伸びる尾根筋上に、2×9間の大型掘立柱建物とその周辺建物の構成による建物群が形成されます。この建物群は、溝と小孔列による柵列状の区画遺構を伴い、周囲からは、銅鏡・鉄鐸や三彩陶器片などの祭祀遺物が出土しています。このほか、牛馬歯骨や貝類の埋納遺構、須恵器平瓶の埋納柱穴が検出されており、建物群の鎮壇等に関連する祭祀も想定されます。墨書土器では「大」が集中する傾向があり、このほか「宮」「司」「司館」「館」「奉」「神」の神祇祭祀に関連した公的施設や神職である宮司（みやのつかさ）の存在を示唆する文字が出土しています。このことから、第2次～第5次3号～第15次調査地点にかけては、古代神社の祭祀を司る、「宮司館」ともいうべき祭祀の管掌施設が展開したと考えることができます。

さらに、この建物群の南側の谷地形には、方位をほぼ真北にとる2×3間に推定される主屋に、3間の西面庇と雨落ち溝を伴う掘立柱建物が確認されています（図2-18）。柱穴からは、埋納された海獣葡萄鏡が出土し、建物プランが神社建築様式の三間社流造と共通することから、神社遺構の可能性があります。

遺跡南部では、製塩・鍛冶炉・畝溝遺構が確認されており、生産域が広がっていたと考えられます。さらに南部に位置する第4次1号地点では、木製椀の荒型が出土しており、木地師などの木工生産域が存在した可能性があります（図2-18）。先述した井戸遺構からは、斎串も出土していることから、木製祭祀具の製作も行った可能性があります。また、遺跡北部の第10次調査では、狭小な調査面積に比して、フイゴ羽口と大量の鉄滓が出土しており、製鉄を行う生産域が指定地の北部にも展開していたと推定されます。9世紀代の祭祀遺物には、8世紀代とは異なり、鉄製品の祭祀遺物が加わっており、製鉄や鍛冶による鉄製祭具の生産が遺跡内で行われていた可能性があります。以上は、9世紀に入り、掘立柱建物群の再編とともに、生産体制についても分業化による再編が行われたことを示唆しています。

遺跡北部の祭祀場では、前述した焼土遺構による祭祀は確認されず、9世紀後半の大量の土器供膳具と祭祀遺物を使用した祭祀遺構が検出されています（図2-19）。石列による方形の区画遺構の内部と周囲に、大量の土器と銅鏡・直刀・勾玉・三彩陶器片をはじめとする祭祀遺物が集中的に出土しており、これらを奉獻する祭祀が行われたと考えられます。この遺構にも炉跡が隣接し、神饌の調理も行われたと考えられ、神人共食儀礼などの祭祀が推定されます。

以上に述べた、9世紀にみられる古代神社関連施設と生産体制の再編・整備の過程は、8世紀代の祭祀専門的集落における祭祀・生産の未分化な体制から、祭祀の執行と生産体制が分離・組織化される官社化の過程を示すものと位置付けられ、奈良時代から平安時代にかけての古代神社

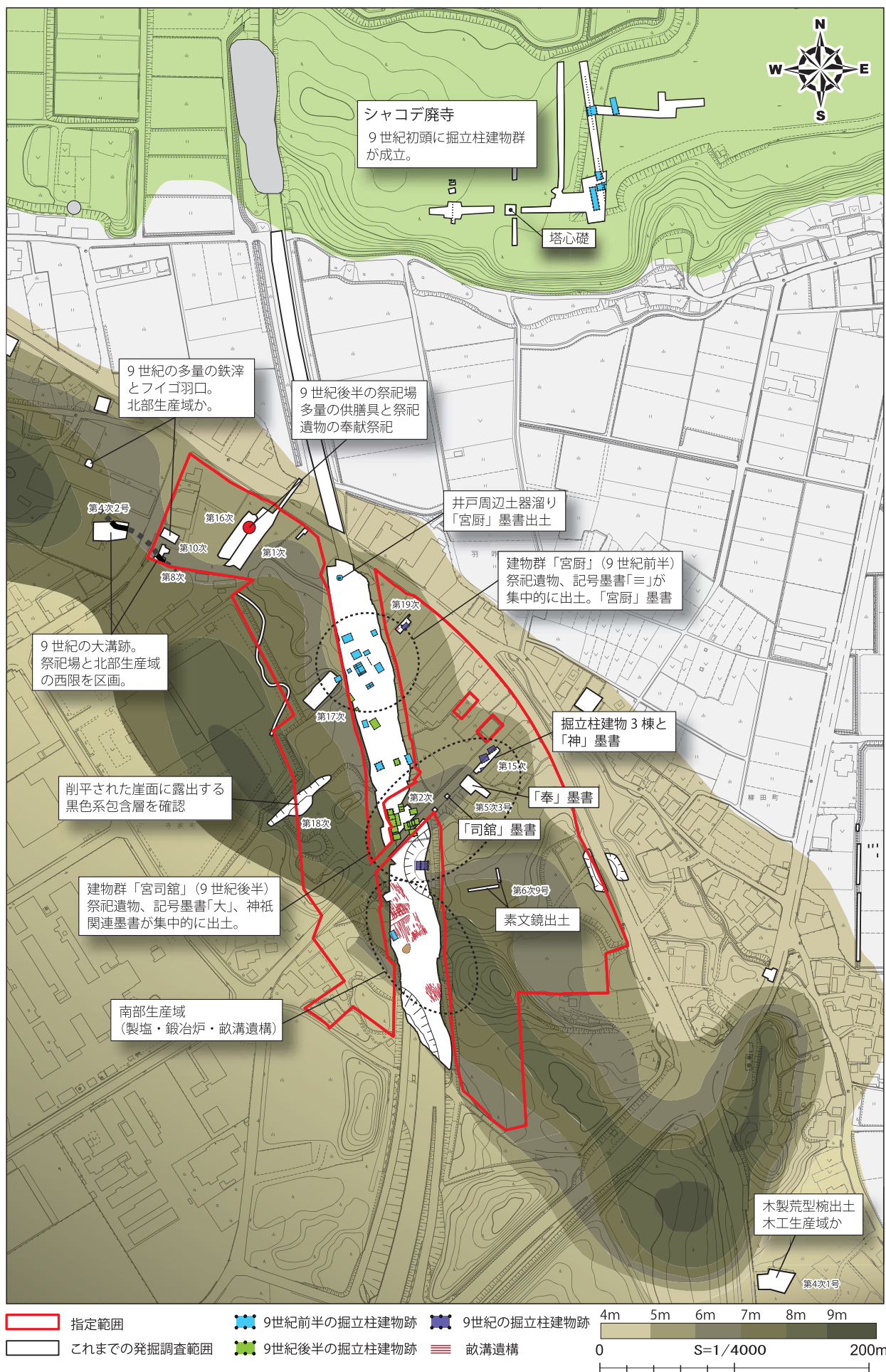


図2-16 史跡周辺の9世紀の主要な調査成果

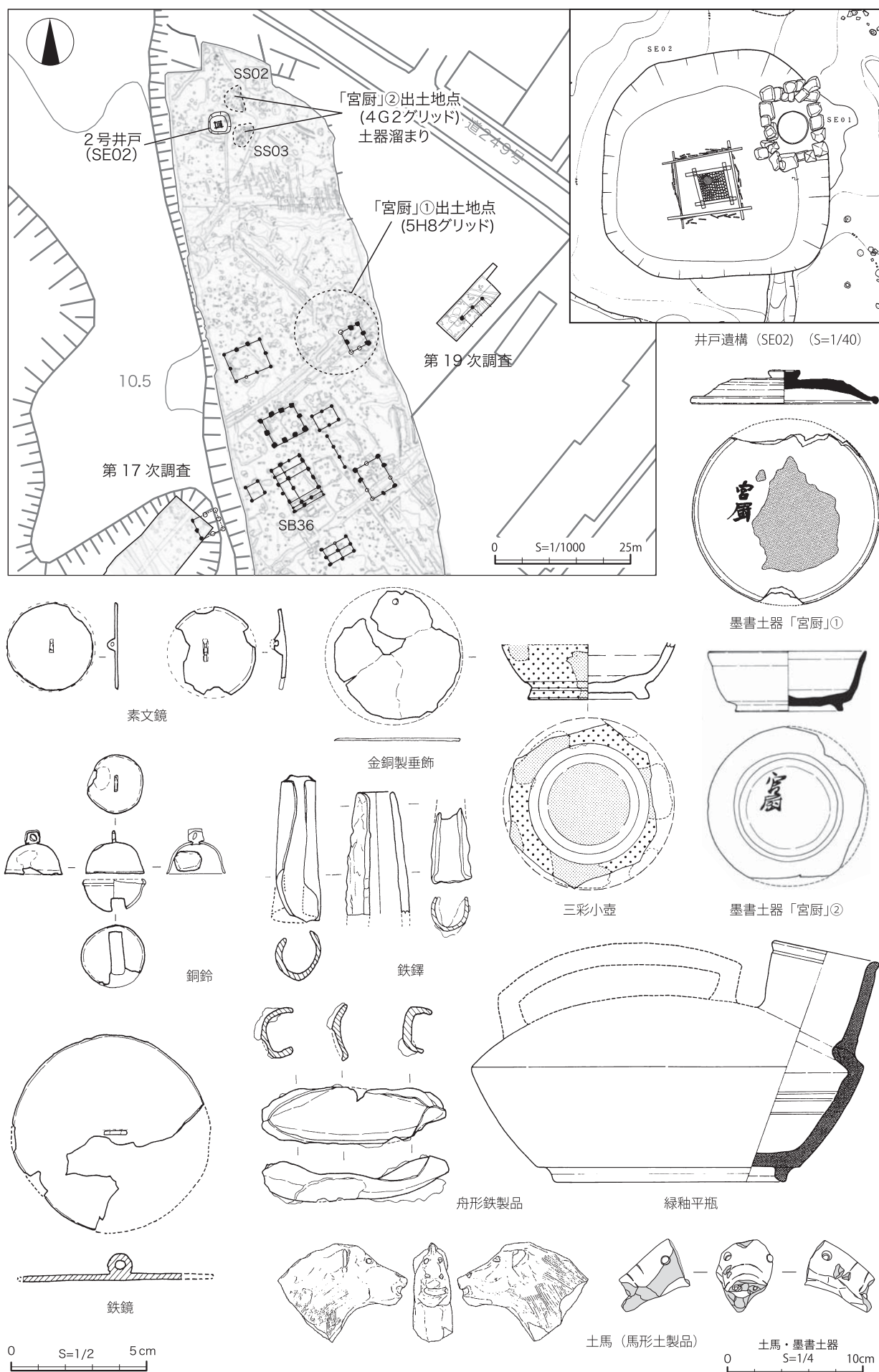
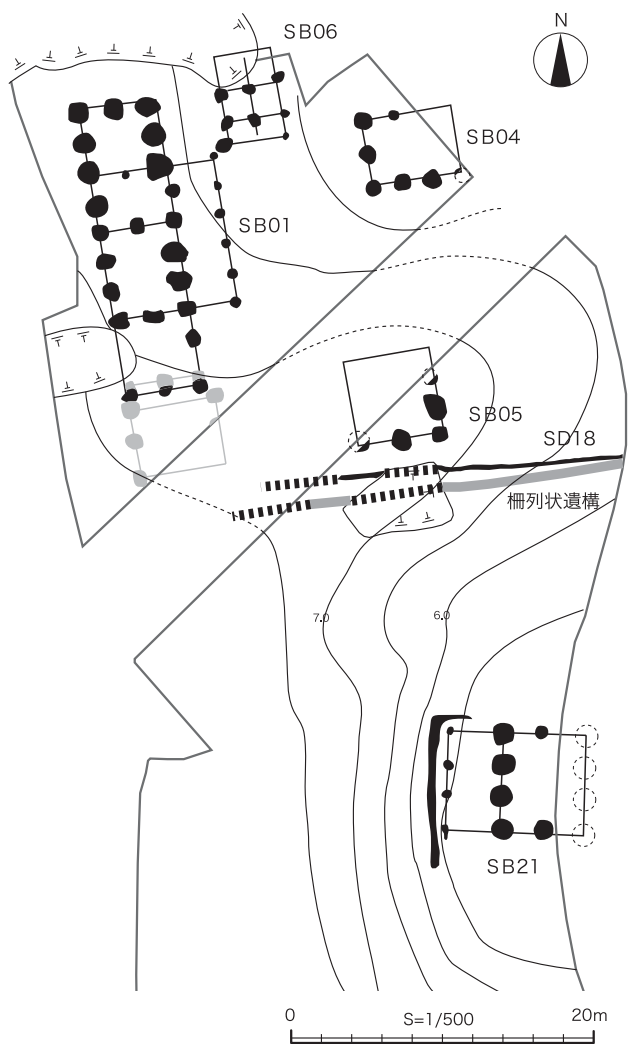


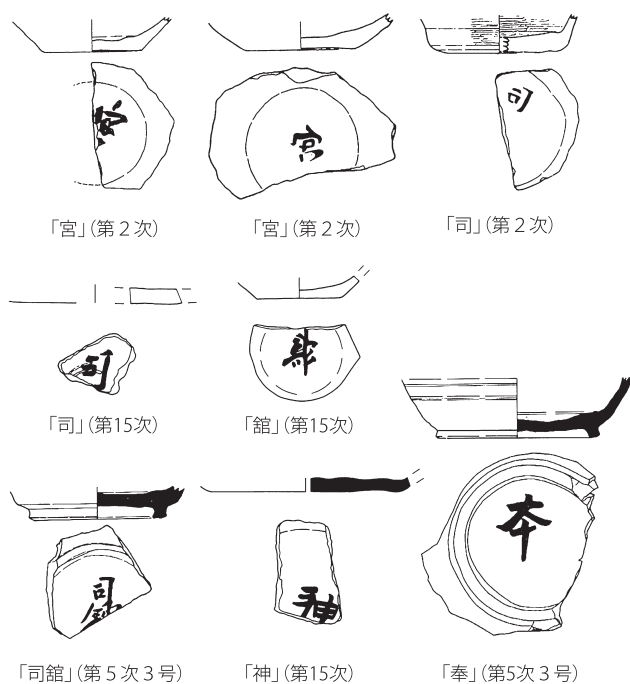
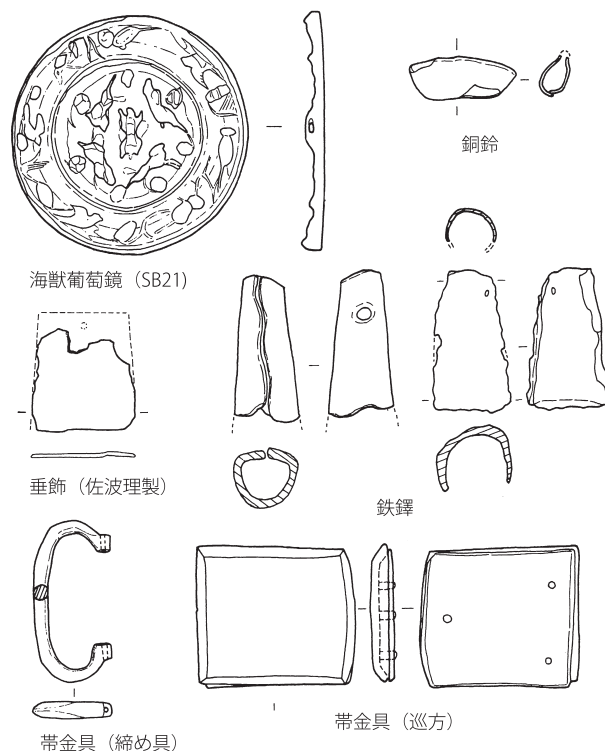
図2-17 建物群「宮厨」周辺の主要な遺構と遺物



建物群「宮司館」遺構平面図



掘立柱建物群の検出状況（北から 第2次調査 1979）
※石川県埋蔵文化財センター提供



周辺から出土した神祇関連墨書 (S=1/4)

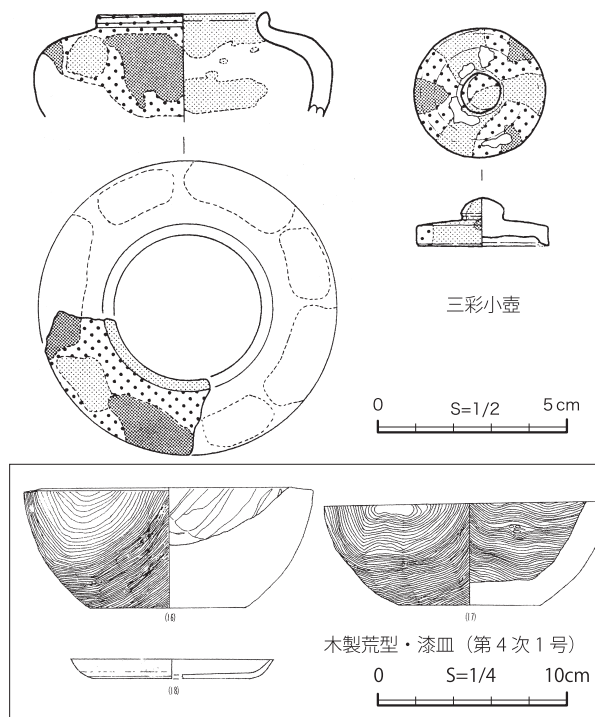
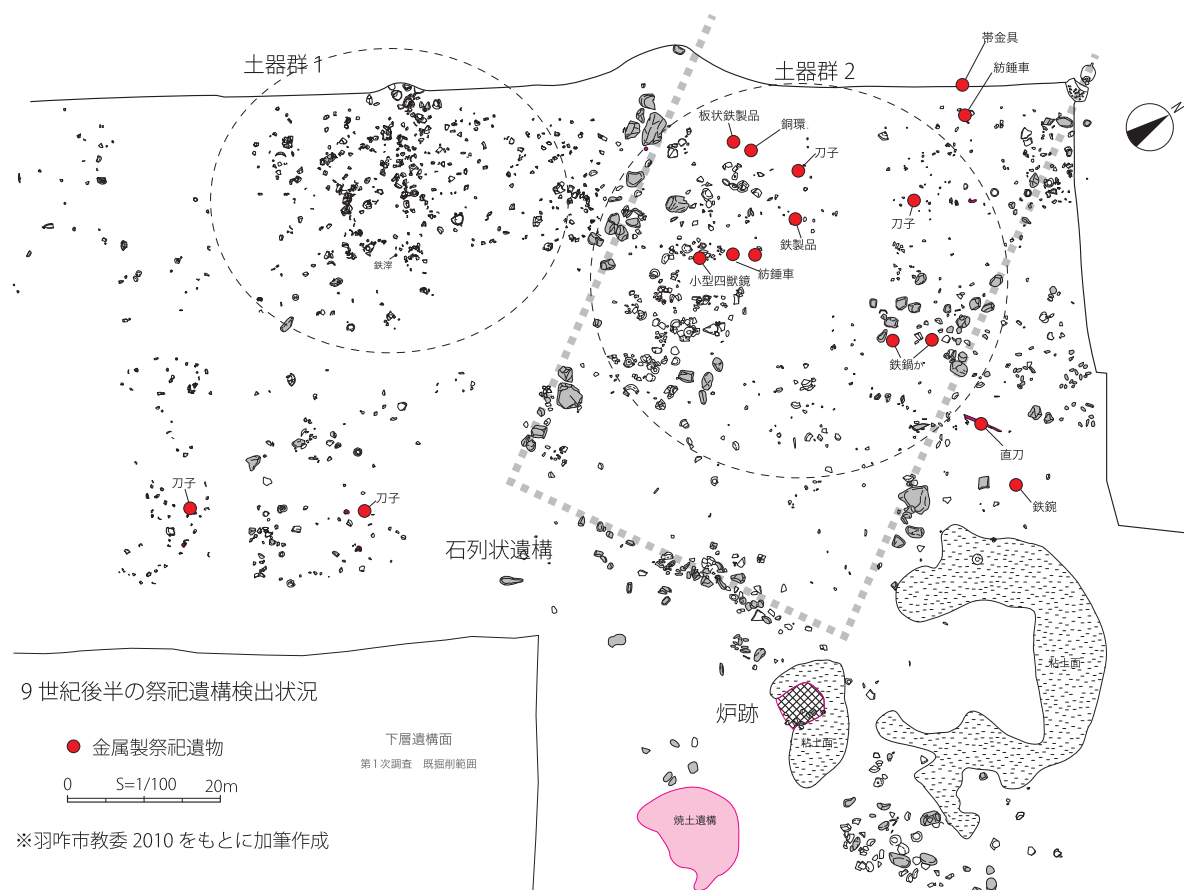


図2-18 建物群「宮司館」と周辺出土遺物



狻猊鏡・素文鏡・垂飾・帯金具・皇朝銭 ※



三彩陶器片・ガラス玉・勾玉・銅環・直刀 ※



祭祀遺構の検出状況と表土砂丘の堆積状況



土器群2 および祭祀遺物の検出状況

※は石川県埋蔵文化財センター所蔵資料

図2-19 9世紀の祭祀遺構と主な出土遺物